

マスコミ各位

令和4年10月17日（月）

沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課 感染症予防班

担 当：加藤、嘉数

電 話：098-866-2013

レプトスピラ症による死亡例の発生について

1 概要

令和4年10月12日、八重山保健所にレプトスピラ症患者の発生届出があり、当該患者が10月8日に死亡したとの報告がありましたのでお知らせします。県内でのレプトスピラ症による死亡例の報告は平成18年以来16年ぶりとなります。

2 患者情報

八重山保健所管内在住の70代、男性。

10月5日に発熱、黄疸、腎不全等の症状があり八重山保健所管内医療機関に受診・入院し、その後回復することなく10月8日に死亡しました。

受診時に臨床症状からレプトスピラ症を疑い、県衛生環境研究所で検査を進めていたところ、10月12日にPCR検査により陽性となりました。

3 レプトスピラ症について

病 原 体：病原性レプトスピラ (*Leptospira interrogans*)

感染症法では4類感染症に分類され、病原性レプトスピラという細菌の感染によって引き起こされる人獣共通感染症です。

感染経路：病原性レプトスピラは、ネズミやマングースなど野生動物の腎臓に潜んでおり、尿中に菌が排せつされ、それにより汚染された土壌や水と接触する際に、皮膚の傷、鼻や目の粘膜を通して感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。

潜伏期間：3～14日

症 状：主な症状は頭痛、発熱（38℃以上）、筋肉痛・関節痛、結膜充血で、重症になると腎機能障害、黄疸などの症状が現れ、治療しないと死に至ることもあります。

治 療：ペニシリンやストレプトマイシンなどの抗生物質が有効とされています。

4 レプトスピラ症の患者発生状況

表：過去 10 年間の全国および県内の患者報告数（令和 4 年 10 月 9 日現在）

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
全国	30	29	48	33	76	46	32	32	17	34	30
沖縄県	6	7	28	13	43	22	15	13	8	24	11

※全国の患者数は、沖縄の患者数を含む

5 レプトスピラ症に感染しないために

- (1) 捕獲したネズミなど野生動物との素手での接触を避け、噛まれないように注意する。
- (2) 農作業など野外活動をする際は、長靴や手袋を使用し、土や水との直接的な接触を避ける。
- (3) 皮膚に傷がある場合は、河川での遊泳を控える。
- (4) 河川や滝などの生水はそのまま飲まない。
- (5) 家畜（牛、豚など）やペット（犬、猫など）の尿に触れた場合は、しっかり手洗いをを行う。

といった予防対策を心がけることが重要です。

また、野外活動やネズミの捕獲をした後、3～14 日以内に突然の頭痛、発熱、筋肉痛の症状がでたら、すぐに医療機関を受診し、その活動状況を医師に伝えることがレプトスピラ症診断の重要なポイントになります。

6 参考

- 沖縄県感染症情報センター「感染症発生動向調査 週報・月報 ～速報～」
<全数把握疾患（1～5 類）>に、レプトスピラ症の情報を掲載しています。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html#syugepou>
- 沖縄県衛生環境研究所「レプトスピラ症にご注意ください！」
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/eiken/eisei/leptospira.html>
- 国立感染症研究所「レプトスピラ症とは」
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/531-leptospirosis.html>